市民ひろば

発行人　市民ひろば編集委員会
〒411-0858
三島市中央町3-32 小出ビル3F
代表　小野 啓一
電話：055-994-9211
shimin_hiroba@ybb.ne.jp
振替 00870-5-153264

ひろば新聞定期購読者募集
申し込みは上記連絡先へ
毎月3000部発行
年額1000円

SHIMIN-HIROBA
じゆうとへいわ

市民の要望を取り入れると言うが
「市民説明会」はごまかしではないのか

10月5日、三島市は、8月末協定書調印が終了したため、東街区再開発説明会を開いた。しかし、広報が足らないのか、文化会館大ホールは3分の2以上空席の低調さであった。

全てはこれから、市民の意見を取り入れる？

初めに市長の説明で「南口再開発は30年来の悲願、三島市の発展にとって避けられない課題」と語り「やっと開発を引き受ける事業者が現れた。これが最後のチャンス」と言い「この説明会での市民の意見や要望を取り入れて行きたい」とのご説。

秘密裏に協定書を取り交わし、今になって「市民の意見を取り入れる」とはどういう神経なのか疑わざるを得ない。しかし、それでも市長支持派の市民が多数動員されていたのか、大きな拍手が沸き起こった。

10/5　ガラガラの説明会場

グランドデザインに基づいた計画と言うが？

担当課長の説明では、今回の計画内容は、平成24年に策定された「三島駅周辺グランドデザイン」に基づいており、やっと現れた事業協力者（ミサワホーム等共同企業体）と合意に至ったと言う。その中で、特に市民からの要望の多い、「南北自由通路」はJRと協議を続けたが実現困難として諦めざるを得ないとのこと。

南北自由通路はグランドデザインの中で最重要テーマであったのにそれが、それがすっぽり消えて無くなっている。

また、南口駅前は広域交通の結節点との位置づけだが、人口減少を想定し道路拡幅の必要性は無いと結論付けて、交通渋滞の懸念も無いような説明だ。

街中商店街への回遊性を高め、人々が交流する賑わいを実現し、周辺商店街への波及効果を高めると共に、歴史・文化・街中の魅力を大切にした開発にすると言う。高層マンションの戸数は２８０戸、年収１２００万円以上の入居者で、税収2億円を想定しているとのこと。

聞く話は、バラ色の将来像はかりだが、実際の「グランドデザイン」とは大きくかけ離れた中身だ。景観や湧水枯渇のリスクを伴う計画が「嘘とごまかしに彩られた説明」で終わったとしか言いようがない。

高層マンション建設は湧水には影響ない？

ミサワホームの説明では、地下水の危惧について「岩盤が厚い所に高層マンションを建てる計画で、くい打ちは10ｍ程度で浅く、地下水に達しない工法で行い、湧水を阻害する懸念は無い」と言うが、問題はそのことを誰が担保しどこが責任を取るのかの裏付けが何もないことだ。

その後、8時20分頃から参加者による質疑に入った。質疑は賛成、反対入り乱れた。

プロポーザル方式という業者丸投げの手法

今、進めている計画はプロポーザル方式という、業者からの開発提案内容の募集から始まっている。「プロポーザル方式」とは聞こえはいいが、つまりは全て「業者丸投げ方式」。業者の利益前提で図面が書かれる。市側は業者に逃げられるとまずいと思うのか、市民の要望は二の次三の次。市側の注文も業者頼りで造ってもらうことが最優先。だからグランドデザインとは大きく違っても言葉だけをねじ込んでそれらしく装う。

今回の計画で「事業協力者」という言葉が何度も出てくる。何かと思ったら、市側の注文を「請負う」のとは違い、手続きから資金調達から何から何まで一括お任せ＝業者丸投げ方式のことらしい。業者は利益率の高い高層マンションは手放せない。多くの地方都市では似たり寄ったりの手法で再開発がすすめられ失敗例が目立つ。

このまま計画が進むのか

市は今になって「市民の要望を取り入れる」と説明するが、協定締結後の大幅計画変更などありえないだろう。そうでないなら、どのような手順で市民の要望を具体化するのか、そのためには「説明会」ではなく「提案検討会」でなくては嘘だ。

これまで、この計画は議会のチェックも経ずにきた。後は、来年の都市計画決定を待ち土地開発公社からの計画地の買い戻しの時、議会承認を必要とするだけだ。

しかし、今後、市側にとって「西街区の土地格安売却をめぐる裁判」が大きなアキレス腱となる可能性がある。

〈Ｈ〉

裸の王様
新しい政治のダイナミズムを

10月7日、浜松アクトシティで「市民連合はままつ」主催の「市民と野党が語り合うつどい」に参加した。安倍一強の自公政権に対抗する勢力をどの様に目指すかが大きなテーマとなっていた。

9月30日、沖縄県知事選挙が戦われ、急逝した翁長知事の後継として立候補した玉城デニー氏が、安倍自公政権が総力を挙げて応援した佐喜眞候補を8万票も引き離して勝利した。現政権に対抗する「オール沖縄」の体制が勢いを失う中、本当に勝てるのかと危惧された選挙戦に玉城氏が圧勝したことは、野党側にとって、来年夏の参院選に勢いをつけるものとなった。

しかし、来年参院選で、沖縄知事選の再来を期待し、現状の野党共闘で戦えると思うのは甘い考えだ。このところのマスコミによる世論調査では、国民の6割が安倍政権にうんざりしていても、立憲民主の支持率は半減している。しかも、弱小野党はどんぐりの背比べで、自公に対抗する基軸となる政党が見えない。乱立する野党を一本化する中心政党が心もとない。現状の野党の寄せ集めによる「野党共闘」ではあまりにも貧弱過ぎて自公を打ち負かす現実味が見えない。国民にもっとインパクトのある政治的ダイナミズムを作り出さなければ、投票率も支持率も上がらない。国民も現状のままを国民に示す必要がある。そのためには、立憲、国民、自由、社民等の小勢力野党が小異を捨てまとまればその危機も回避できる。国民に本気度が見えて支持率は倍増する。

共産党は独自の綱領と性格を持つのですぐに一つになるのは難しい。共産党とは政策協定を結び「本物の野党共闘」として連携する。当面、次期参院選では改憲勢力3分の2割れを目指すことだ。そのこ

とが実現すれば次期衆院選での政権奪取の受け皿の展望は開ける。

小沢一郎が唱えていた「オリーブの木方式」で野党が一つにまとまった国会内会派を形成する。更にそれを進めた統一政党の結成こそ、現在の混迷を深める国会情勢を一新する大きなインパクトとして国民に現実的な選択肢を投げかけれるのではないか。

現状のままでは来夏の参院選で再び安倍自公政権の圧勝を許しかねない。今こそ政治の大きなうねりを作りだす必要がある。

〈Ｙ〉

うそで固めた消費税値上げ

安倍首相は来年10月に消費税を10％に上げると言明。８％増税時の財務省は「皆さまの医療年金介護子育てを守るために。消費税率の引上げ分は、全額社会保障に使われます」と広報していたが嘘だった。なぜなら社会福祉の財源にするというのであれば、消費税は年金特別会計に入れなければならないのに使途を限定しない一般財源のままである。これは間違いなく、消費税増税詐欺だ。

結局消費税増税分は社会保障費に使われていないどころか、5年間の安倍政権の間に、社会保障費は3兆４５００億円も削っていたのだ。20年間のＩＭＦのデータでも、日本政府が世界で最も国民に金を使ってこなかったことがわかる。こんなに騙され続けてなぜ国民は怒らないのか。

しかも消費税対策にクレジットカードなどのキャッシュレス決済で商品を買うと2％をポイントで還元って、これまたカード会社やポイント管理会社（財界）を儲けさせる。これを目玉と言っているのだ。ポイント還元を餌にしてクレカ等を使うと企業が5％くらいの決済手数料を負担する、要するにタダではない。結局、端末費用と通信料・保守料とカード手数料等が商品価格に転嫁され、最終的には消費者が払うことになりカード会社が儲かるだけだ。そのためにかかる費用・手間・人件費で増税分をはるかに上回るだろう。高齢者、低所得者、弱小小売店に鞭打つ内容なのだ。

この機会に小規模小売店を撲滅し、キャッシュレス社会で国民を管理しようとの魂胆がみえみえだ。

消費税は逆進性が強く、歪んだ税制だ。消費を冷え込ませる「消費税」は今すぐ廃止し、最低賃金を上げ、国民の消費を増やし経済を活性化させなくては、この国は沈没する。

〈Ｊ〉

百千鳥

▼IT化は管理社会の幕開けか。10年以上前の出来事を思い出す。所属していたPCクラブでこれからの連絡はメールでやろうとアドレス登録した時だ。古い仲間が突然PCから手を切ると宣言した。驚いて理由を聞いてみたところ、メール登録をしたら、いろいろな情報が勝手に入って来て怖くなったという。▼便利さの裏には大きな危険が伴うことを知ったうえで行動する必要があることを改めて知らされた出来事だった。▼中国ではPCの時代を飛び越えてスマホの時代に突入している。スマホでIT化が一気に進んでいるようだ。皆スマホを持っていて現金は持たない。買い物の支払いもスマホをかざすだけ。▼日本でも電子マネーやスマホ決済が身近になっているが、近年各企業でも様々なキャッシュレス化が進んでいる。中国ではWeChat（微信）で、割り勘計算もすぐにでき、支払いする人に送金すれば割り勘終了だ。▼また食事の注文も登録してあるお店に入ると、スマホにメニューが示され、入って出るまで店員と全く口をきかずに注文・支払いが可能だ。▼カード支払いはいつどこで何を買ったか、個人の趣味や嗜好傾向が知られてしまうわけだが、スマホでお金のやり取りができるとなると他の情報との突合せでもっといろいろなことがわかってしまう。▼便利さには管理されるという代償が伴うことを認識しなければいけない。マイナンバーに紐付けされたら、個人が完全に管理される社会になってしまう。まさにジョージ・オーウェルの「１９８４」の世界だ。▼携帯電話、スマホを持ちながらも、自分だけの楽しみにしたいときはどうするのか。もう出来ないのだろか。

〈Ｏ〉

書き留めて　㉛　あさの かずこ

80Ｆの端に天秤そっと描く
支持率下がるを願いながら
―絵のテーマとは無関係（80Ｆはパネルの大きさ）―

マニキュアをゆっくりおとす夜十時
儀式のごときわたしの慣わい
―皮膚呼吸ができないと眠れません―

NOUCA　古民家
カフェ
紅茶の国スリランカで
極上のコーヒーを発見！
畑毛温泉近くの古民家で
スペシャルコーヒーはいかが？
自家焙煎珈琲 ゲストハウス＆カフェ
電話・FAX　055−950−9289
毎週金曜 定休
営業時間　9:00〜18:00
ランチタイム　11:30〜14:00
伊豆の国市奈古谷 1048-1

あんみつ　おしるこ
沼津港のオアシス 和風カフェ ねこや
沼津市千本港町 77-4 沼津みなとアートビル
和風カフェ＆ギャラリー ねこや
TEL:055-943-5541
営業時間 10:30〜17:30 休み:水曜・木曜
・ギャラリー展示・
10/16(金) 〜 11/13(火)
ゴミ展
ゴミカメくんの初個展

文盛堂書店
定期購読の雑誌等、配達承ります
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
営業時間 9:30〜19:00
住 所　三島市中央町2−37
（中央町商店街）
電 話　055−975−4229
FAX　055−972−3319
定休日 元旦
http://www.e-hon.ne.jp/bec/SHOP52033

長い歴史に培われた確かな目
人生の節目に、信頼の置ける
時計・宝飾・メガネ
小坂
時計の修理、電池交換はもちろん
お手持ちの宝石のリフォームなど
ぜひお気軽にご相談下さい
三島市本町 8-1
055-975-1345

原発稼働40年間、低線量体内被曝の
蓄積で私たちの体はどうなっているの？
測定即修正デトックス
真露（まつゆ）のへや
国際バイオントロジー協会
認定セラピスト 三上真露
411-0801 三島市谷田 173-13
パステルコート田村 101
TEL＆FAX 055-976-8765
携 帯　080-3613-6869
HP http://www.akahigenohari.com/